

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	国語表現演習 I		
科目基礎情報							
科目番号	52		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	生産システム工学専攻		対象学年	専1			
開設期	前期		週時間数	1			
教科書/教材	「大学生のための日本語表現トレーニング 実践編」三省堂9784385363264						
担当教員	太田 たまき						
到達目標							
大学生相当の文章読解・作成能力を培うとともに、それらを実践的に応用し、学業や社会生活に生かすことができるレベルへの到達を目標とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	論理的な文章の代表的構成方法を十分に理解できる。		論理的な文章の代表的構成方法を理解できる。		論理的な文章の代表的構成方法を理解できない。		
評価項目2	論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解し、要約することが十分にできる。		論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解し、要約することが十分にできる。		論理的な文章を読み、論旨を客観的に理解し、要約することができない。		
評価項目3	自己の考えを論理的・客観的に文章に表現することが十分にできる。		自己の考えを論理的・客観的に文章に表現することができる。		自己の考えを論理的・客観的に文章に表現することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	堅実な文章を「書く」に足る日本語表現能力の向上を目指す。一般的な読解や要約の力はもちろん、さまざまな文章を書く能力を養い、その場にあった表現や形で文章を作成する力を身につける。						
授業の進め方・方法	演習形式で行う。解説のあと、授業後半に応用・実践問題を課し、時間内に提出する。						
注意点	授業前半での講義をもとに、授業内課題を課します。課題の提出が評価の基準となりますので、出席・提出状況により単位取得が難しくなる場合があります。自主的な学習を心がけてください。本科目は学修単位なので、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が授業の前後に必要となります。具体的な学修内容は授業内容の予習・復習に該当するもので、適宜授業時間内に指示します。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス	本授業の目標・方針を周知徹底するとともに、次回以降の授業概要を確認する。			
		2週	文章を読解する 1	「アカデミックリーディング」の基礎を理解することができる。			
		3週	文章を読解する 2	「アカデミックリーディング」を実践することができる。			
		4週	文章を要約する 1	文章の要約法を学び、文章の大意をすばやく把握することができる。			
		5週	文章を要約する 2	文書の要約法を学び、レポートや論文の作成に活用することができる。			
		6週	図書館・インターネット・資料の活用法	インターネットや図書館を駆使し、適切な資料を収集・活用することができる。			
		7週	堅実なレポートの書き方 1	主観文と客観文の違いやレポートの定義を理解し、それぞれにふさわしい書き分けをすることができる。			
		8週	堅実なレポートの書き方 2	「レポート」の定義やルールを理解し、自力で構成の練り上げや情報収集などの下準備ができる。			
	2ndQ	9週	堅実なレポートの書き方 3	「レポート」の定義やルールを理解し、自力で構成の練り上げや情報収集などの下準備ができる。			
		10週	いろいろな文章	インターンシップや就職活動などに必要な文章を書き分けることができる。			
		11週	堅実なレポートの書き方 4	レポートの評価基準を理解し、高評価を得られるレポートを作成することができる。			
		12週	堅実なレポートの書き方 5	レポートの評価基準を理解し、高評価を得られるレポートを作成することができる。			
		13週	ディベートの技法	ディベートの技法をもとに、多角的なものの見方を身につけ議論を深めていくことができる。			
		14週	小論文を作成する 1	小論文の在り方を理解し、ふさわしい構成を組み立てることができる。			
		15週	小論文を作成する 2	規定時間内に小論文を完成させることができる。			
		16週					
評価割合							
	授業内課題	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---